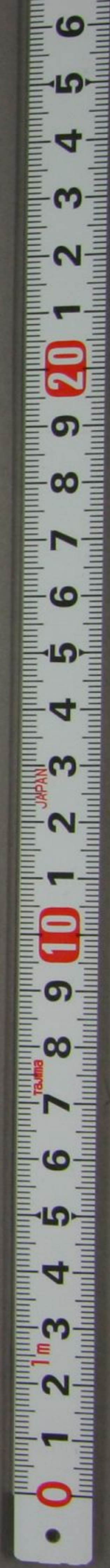


肥後熊本ノ産松本喜三郎ト申スモノ近年東京
 浅草ニ寄留仕世ニハ之ヲ生人形師ト称スソノ人々
 ル篤實温厚舊藩ニアリテ孝ヲ以テ称譽セラル
 ソノ天稟工藝ニ長シ百工トシテ兼子サルハナシ就
 中生物ヲ寫シ取テソノ形ヲ制衣スルコト最モ巧ニテ實
 ニ造化ノ妙ヲ集フ素ヨリ天地間ニ形有ルモノト
 シテ漏ルコト^{ナシ}寫眞工制衣イタサルハナシコノ寫眞
 工ニ至テハ外國制衣造巧ニナリトイヘトモ喜三郎ニ及

114
 A362
 2



天正十一年四月
 侯爵
 贈



ヘカラス萬國廣シトイヘトモ手技ヲ以テ如此寫真シ
テ形ヲ造リ出スコトハ又バ喜三郎ノミニ限ルナラン而シ
テ世上ミナソノ百工兼能タルコトヲ知ラス漫ニ人形師
ト唱ヘ成スハ遺憾ノ至ナリ今度博覧會ニ御渡
ノ御品ナドニモ同人甚々遺憾トスルトコロアリ介石
同縣ノ故ヲ以テソノ人タル飽テ知ルトコロ一々介石
富國ノコトヲ以テ相共ニ議スルニ同人無限喜悅仕
ソノ宿志同意ニ出ルコトヲ語ル素ヨリ介石建白
書ハ齒牙ニ掛クキモノニアラサレトモ同人推薦ノ

來由ヲ語ルニ就テ併テ上言仕候誠恐誠惶敬白

白川縣正泉寺

等象齋介石也

明治六年一月十日

欽上

